

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ハッピー新静岡駅前教室	公表日	2024年 10月 2日
------	-------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	状況に合わせて部屋を広げて支援を行っている。	集団支援時のモニター閲覧方法を検討する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		お子さまの様子に合わせた指導員数の配置を設定している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	教室まで段差がないので、通所はしやすいように感じている。	トイレが遠いため、不便さがあると感じている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	手洗い場では、踏み台の設置や手前に水が流れるよう工夫している。	手洗い場では高さもあるので、さらに配慮が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別対応ができる環境になっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎月職員会議等を実施し、意見を交換している。	PDCAサイクルといった考え方を職員間で周知できていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	今回が初めての実施となるが、毎年実施している。	開所して間もないため、実施した事例が無かった。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議や職員面談を通して業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	社内で内部監査が行われている。	第三者による外部評価を実施していない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		社内研修が定期的に実施されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援後のフィードバックにて保護者様に説明している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		アセスメントシートを用いて適切に作成ができています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画検討会議を実施し、共通理解の場を設けている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		都度、個別支援計画を確認し支援内容を考案している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		社内独自のアセスメントシートを使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに基づいて具体的な支援内容を設定している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	利用者様の様子を共有しながら立案ができています。	共有する時間が設けられない時には、個人の意見で立案することもある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		直近の活動内容を確認しながら、固定化されないよう立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	利用者様の様子を伺いながら、ペア・小集団の機会を設けている。	集団の希望に添えない（人が集まっていない）ことがある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	朝終礼時に、当日の支援について確認、共有をしている。	共有する時間の確保に課題があると感じている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	5	1	終礼を実施し、気づいた点を当日に共有している。	当日中に振り返れない場合もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援後には、必ず活動記録を作成し、支援の振り返りができるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		3か月に1度、モニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	相談支援事業所と情報共有を行っている。	不定期での開催のため、定期的な共有を心がける。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		協力医療機関や通園先等といった関係機関との連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者様のご意向を伺った上で、通園先と利用者様の様子などを共有し相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	就学引継ぎシートを用いて利用者様の様子の情報共有を図っている。	どんなことを実際に行っているのか把握できていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	発達支援センターへの訪問は適宜行なっている。	助言等を受ける等の提案ができていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	園への連携で指導員が地域へ訪問するようにしている。	園や地域の子どもと交流する機会は設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		支援後のフィードバックにおいて、利用者様の状況や課題について伝えあう機会を設けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	自社主催の保護者向け家族支援プログラムを実施している。	教室内にてペアレント・トレーニング等は実施できていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		見学や契約の際に説明を行っている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画検討会議の中で、お子様や保護者様のご意向を職員間で確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		契約時や更新の際に個別支援計画の内容を確認いただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		支援後のフィードバックや相談支援の時間を設け、面談等を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者様と一緒に参加するイベントの開催をしている。	今後、保護者会を実施することを検討している。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談や申し入れがあった際には、迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		イベント案内を口頭やチラシを使用して行っている。また、ホームページのブログにて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		施錠されたロッカーに入れ、適切に管理している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚的に配慮するなどの工夫をしている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	外部(利用者以外)の方を対象としたイベントを実施した。	最近、外部の方を対象としたイベントが実施できていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアル等が策定できている。	発生を想定した訓練が避難訓練しか実施できていない。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	業務継続計画を策定できている。	避難訓練はできているが、救出の訓練ができていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	見学シートを用いて服薬状況を確認している。	予防接種状況の把握も必要かと思っている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約時にアレルギーの有無を書類で確認している。	現在、医師の指示書がある利用者がいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画を作成している。	研修、訓練等が行えていない。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	掲示物等で子どもの安全確保について説明している。	保護者様が理解できているかが不明ではある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットを記録として残し、事業所内で共有している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年に2回、虐待防止の研修を実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	契約の際に説明を行っている。	支援計画上には記載がない。	